

令和6年度使用教科用図書選定のための資料

学校教育法附則第9条教科用図書（一般図書）

岩手県教育委員会

令和6年度使用 学校教育法附則第9条の規定による教科用図書（見本）理由書一覧

1 図書名

No.	出版社	書名	該当教科	障がい種別	学部・学年等	価格（税込）
1	小学館	へんし〜ん！ ことばブック	国語	視覚障がい	中学部2年 （重複学級）	¥1,430
2	河出書房新社	ことばを育てるえほん あいうえオノマトペ ぱびふぺいっと！	国語	聴覚障がい	小学部5年 （重複学級）	¥1,870
3	ブロンズ新社	コロボックルのことばえほん おとがいっぱい	国語	知的障がい	小学部4年	¥1,320
4	戸田デザイン研究室	よみかた絵本	国語	知的障がい	中学部2年	¥1,980
5	ほるぷ出版	ころりん・ぼい！	算数	視覚障がい	小学部2年 （重複学級）	¥1,045
6	大日本絵画	みんなでかぞえるなんばーず！	算数	知的障がい	小学部3年	¥1,650
7	あすなろ書房	数え方のえほん	数学	聴覚障がい	中学部1年 （重複学級）	¥1,540
8	福音館書店	はじめてであう すうがくの絵本1	数学	知的障がい	中学部1年	¥1,760
9	幻冬舎	クイズでたのしむ あんぜんえほん	生活	聴覚障がい	小学部6年 （重複学級）	¥1,540
10	偕成社	なぞなぞのみせ	生活	病弱	小学部5年 （重複学級）	¥1,100
11	偕成社	いちばんはじめのマナーえほん	生活	知的障がい	小学部3年	¥1,430
12	ひかりのくに	新版 親子で旅する日本地図のほん	社会	知的障がい	中学部3年	¥1,485
13	コクヨ株式会社	いろいろなおやさいどこになる？	理科	肢体不自由	中年部1年 （重複学級）	¥1,430
14	PHP研究所	天気の不しぎえほん	理科	病弱	中学部3年 （重複学級）	¥1,760
15	ブティック社	おとがながれる てあそびうたえほん	音楽	肢体不自由	小学部3年 （重複学級）	¥1,760
16	学研プラス	あかあかくろくろ	図画工作	肢体不自由	小学部2年 （重複学級）	¥968
17	アリス館	いろがみびりびりぴったんこ	美術	視覚障がい	中学部1年 （重複学級）	¥1,210
18	アリス館	みんなのいちねん	職業・家庭	病弱	中学部1年 （重複学級）	¥1,760
19	主婦の友社	きみのところをつよくするえほん	特別の教科 道徳	病弱	小学部5年 （重複学級）	¥1,430
20	金の星社	みんなのきもちがわかるかな？おもいやりの絵本	特別の教科 道徳	知的障がい	中学部3年	¥1,870

2 一般図書選定の理由書（次頁）

一般図書選定の理由書

番号	1
----	---

学校名 _____

担当者名 _____

図書名	へんし〜ん！ことばブック	発行者名	小学館
図書の内容	<p>本書は、言葉に濁点や半濁点が付くと意味が変わるオノマトペを、イラストと文章で紹介している図書である。「てんてんおぼけ」や「まるおぼけ」が言葉に取り付いて、言葉が変身するという設定になっており、楽しく学ぶことができる。紹介されている言葉は、気持ちや様子、音などを表しており、声に出して読んでみると音の面白さを味わえる図書となっている。</p>		
対象学年	中学部2年（重複障害）	障がい種別	視覚障がい 該当教科 国語
選定の理由	<p>児童生徒の実態</p> <p>本生徒は全盲で、右眼が光覚、左目が義眼である。経験したことや協力してほしいことなどを相手に伝えたり、ダジャレを言ったり、音真似をしたりするなど、話すことが好きな生徒である。また、経験したことなどを簡単な点字の文章に書くことができる。</p> <p>一方、見えにくさから、様子を表す言葉などの語彙が少ないことや相手の話を聞かずに一方的に話す様子がしばしば見られる。</p> <p>本書を活用することで、言葉が変身することに興味を示し、意欲的に学習に取り組むこと、相手の話の内容を理解する力や伝える力が付き、より会話や文章表現が豊かになることが期待される。</p> <p>指導の概略</p> <p>(1) 教師が本書の内容を解説したり動作化したりして読み聞かせを行い、それを聞いて動作の真似をし、言葉で表現する。</p> <p>(2) 教師が本書の内容を解説したり音を聞かせたりして読み聞かせを行い、それを聞いて言葉で表現する。</p> <p>(3) 教師が本書の内容を解説しながら読み聞かせを行い、それを聞いたり、状況や物を触察したりして、言葉で表現する。</p> <p>(4) 教師が本書の内容を解説しながら読み聞かせを行い、それを聞いたり話したりしながら気持ちの言葉の表し方を知る。</p> <p>(5) 本書に出てくる言葉には、一つの言葉にいろいろな意味があることを知る。</p> <p>(6) 学校生活全体の中で、状況に合わせて、学習したオノマトペを教師が使う様子を聞き、使い方の理解を深める。</p> <p>(7) 学習したオノマトペを使って、思ったことや考えたことを話したり、書いたり、動作化したりする。</p> <p>(8) 気に入った言葉や調べてみたい言葉を発表し、学習を振り返る。</p>		

(記入上の注意)

- 1 対象学年の（ ）は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番号	2
----	---

学校名 _____

担当者名 _____

図書名	ことばを育てるえほん あいうえおオノマトペ ぱびぷべぽいっと！	発行者名	河出書房新社		
図書の内容	<p>本書は、動物の鳴き声や物事の様子、動作などをオノマトペで表現された図書『あいうえおオノマトペ』の第二弾で、濁音、半濁音、拗音を集めた図書である。濁音、半濁音、拗音がオノマトペで表現されており、「ごくごく、ぴかっ、しゅっしゅっ」など、その表現を使った短い文と絵が掲載されている。</p> <p>言葉のもつ楽しさに気づき「面白い」という実感をもち、「また読みたい」と思うことのできる内容であり、オノマトペを使った濁音、半濁音、拗音に親しむことのできる図書である。</p>				
対象学年	小学部5年（重複学級）	障がい種別	聴覚障がい	該当教科	国語
選定の理由	児童生徒の実態	<p>本児童は聴覚障がいがあり、聴覚が左右とも 90dB で、知的発達が6歳程度の児童である。補聴器をつけた状態で、大人がゆっくり大きな声で話す言葉を聞き取ることができる。平仮名を読んだり書いたりすることができるが、濁音、半濁音、拗音の部分になると自信がなくなり、読みが止まってしまったり、濁点や半濁点を書き忘れることがある。</p> <p>本書を活用することにより、動物の鳴き声や物事の様子、動作などを音で表現できることを知り、音や動作を真似ることでオノマトペの表現を理解できることが期待される。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 本書を見て、いろいろな様子や動作を音で表現できることを知る。</p> <p>(2) 本書を教師と一緒に読み、実際の音とオノマトペの表現を確かめる。</p> <p>(3) 本書を教師と一緒に読み、絵の動作とオノマトペの表現を確かめる。</p> <p>(4) 本書を教師と一緒に読み、物事の様子とオノマトペの表現を確かめる。</p> <p>(5) オノマトペを使った短文を書き、発表しあう。</p>			

(記入上の注意)

- 1 対象学年の（ ）は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番号	3
----	---

学校名 _____

担当者名 _____

図書名	コロボックルのことばえほん おとがいっぱい		発行者名	ブロンズ新社	
図書の内容	5匹のねずみのきょうだいと様々な動物が、生活の中にある擬音を紹介する内容となっている。朝起きて登校し、下校するまでの各場面での行動一つ一つに擬音語が添えられていて、たくさんの擬音語に触れながら、擬音の表現に親しむことができる図書である。				
対象学年	小学部4年	障がい種別	知的障がい	該当教科	国語
選定の理由	児童生徒の実態	<p>本児童は、知的発達が6歳程度の児童である。絵本に関心があり、気に入った絵本を教師と一緒に繰り返し読むことを通して、読むことができる平仮名が増えてきている。</p> <p>本書を活用することにより、生活の中の動作や様子を表す擬音語について知り、また、実際に本書の中の擬音語を使うことで、意欲を高めながらその表現の仕方について理解できるようになることが期待される。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 本書を自由に読み、お気に入りの擬音語を見つける。</p> <p>(2) 教師と一緒に本書を読み、挿絵の動作とその擬音語の表現を確かめる。</p> <p>(3) 教師と一緒に本書を読み、挿絵の音とその擬音語の表現を確かめる。</p> <p>(4) 教師と一緒に本書を読み、挿絵の様子とその擬音語の表現を確かめる。</p> <p>(5) 「のっしのっし」「ちょちょこ」「たったっ」「うろちょろ」「どたばた」などいろいろな歩き方を動作化してみる。</p> <p>(6) 「むにゃむにゃ」「ぐわあー」「ぐっすり」「すやすや」などいろいろな眠り方を動作化してみる。</p> <p>(7) 「にっこり」「がはは」「いひひ」「くすくす」などいろいろな笑い方を動作化してみる。</p> <p>(8) お気に入りの擬音語を紹介しあい、学習を振り返る。</p>			

(記入上の注意)

- 1 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番 号	4
--------	---

学校名 _____

担当者名 _____

図 書 名	よみかた絵本	発 行 者 名	戸田デザイン研究所		
図 書 の 内 容	<p>本書は、五十音順の一文字ごとに見開きで、短文とイラストで表現されている。見開きの右ページには、短文が平仮名と片仮名で書かれており、左ページに、その短文の様子を表すイラストが色彩豊かに描かれており、文章の語感を楽しんだり、文章から広がる世界をイラストで味わったりすることができる図書である。</p> <p>また、大きい文字で単語や文節ごとに区切られて書かれているので、何が書かれているか把握しながら読みやすい図書である。</p>				
対 象 学 年	中学部2年	障がい種別	知的障がい	該当教科	国語
選 定 の 理 由	児童生徒の実態	<p>本生徒は、知的発達が5歳程度である。絵本を見たり読んだりすることが好きで、平仮名や片仮名の文字を1文字ずつたどって拾い読みすることができる。平仮名を書くことにも興味をもっており、手本があれば写し書きができるようになってきている。読んだり見たりすることが好きな一方で、難しいと感じてしまうと自信がもてず、人前で話したりすることにためらいを感じている様子も見られる。</p> <p>本書を活用することで、導入として教師の読み聞かせを聞き、短文の音のリズム感に興味をもつこと、各ページのイラストと言葉を一緒に見ることによって言葉の意味を理解し語彙を増やすこと、音読する際は、文節ごとに区切られているので読みやすさから自信をもって読むことなどが期待できる。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 本書の読み聞かせを聞く。 (2) 言葉の響きやリズムを味わいながら、本書を教師と一緒に音読する。 (3) 短文に出てくる単語を絵の中から見つける。 (4) 同じ音から始まる言葉を探して、発表する。 (5) 友達が探した言葉の発表を聞く。 (6) 自分や友達が探した言葉を、手本を見ながらノートに書く。 (7) (1)～(6)を五十音順に一文字ずつ取り組む。 (8) 自分の好きなページを見つけて、教師や友達の前で発表する。</p>			

(記入上の注意)

- 1 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番 号	5
--------	---

学校名 _____

担当者名 _____

図 書 名	ころりん・ぽい！		発 行 者 名	ほるぷ出版	
図 書 の 内 容	<p>本書は、くるくる回る輪に指を載せ、くぼんでいるコースに沿って輪を動かすことができる図書である。また「ころりん ころりん ぽい！」などのリズムカルな言葉が繰り返し使われており、親しみやすい。</p> <p>また、逆さまにすると、輪が出てくる仕掛けになっており、それを触ったり音を聞くことでその仕組みを感じ取ることができる。</p> <p>以上のように、聴覚・触覚に楽しく働き掛けることができる図書である。</p>				
対 象 学 年	小学部2年（重複学級）	障がい種別	視覚障がい	該当教科	算数
選 定 の 理 由	<p>児童生徒の実態</p> <p>本児童は、両眼が光覚の盲児である。児童は、音や声、触ることなどを通して学習している。手のひら全体や指先を使った触察の学習を行っており、触ることに慣れてきた。</p> <p>児童の指先に教師が手を添えて、一緒に輪を触り、読み聞かせをしながら楽しんだ上で、各ページの輪の数を触って数えることを繰り返すことで、各ページの輪の数の変化を感覚的に捉えることが期待できる。</p> <p>さらに、コースに沿って輪を動かしたり、繰り返し使われている言葉を真似したりすることが期待できる。</p>	<p>指導の概略</p> <p>(1) 教師と一緒に触り、輪やコースのくぼみの存在、カラカラと音が鳴ることに気付く。</p> <p>(2) 自分で輪やくぼんでいるコースを触る。</p> <p>(3) 児童が触覚で分かるように、教師が「ポケット」「おなべ」「かみぶくろ」「びん」に立体的な印を付け、その印に向かって、教師と一緒にコースをたどったり、お話を聞いて、輪のボタンなどがどこに転がっていくのか知り、繰り返し楽しむ。</p> <p>(4) 教師と一緒に「ころりんぽい！」と話し、ポケット等に入れる。</p> <p>(5) 教師と一緒に「どこいった？」と話し、本を逆さまにして、輪が出てくることを楽しむ。</p> <p>(6) 教師と一緒に、輪を触ったり動かしたりしながら、輪の数を声に出して数える。</p> <p>(7) 「ころりん・ぽい！」の楽しかったところを教師と一緒に振り返る。</p>			

(記入上の注意)

- 対象学年の（ ）は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番 号	6
--------	---

学校名 _____

担当者名 _____

図 書 名		みんながかぞえるなんばーず！		発 行 者 名	大日本絵本	
図 書 の 内 容		<p>本書は、10 までの数について数字を読んだり、数えたりすることができる図書である。各ページに大きくカラフルに表現された数字や、その数と同じ個数の丸印が現れるしかけを通して、数の表し方や数え方を学ぶことができる内容である。また、リンゴやロケット、魚などの挿絵が鮮やかに表現されており、興味をもって読むことができる図書である。</p>				
対 象 学 年		小学部3年	障がい種別	知的障がい	該当教科	算数
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>本児童は、知的発達に4歳程度である。ライオンやシマウマ、キリンなどの動物に興味があり、図鑑を見るのが好きである。1から5程度の数字について、順番に唱えたり、教師と一緒に動物の数を数えたりすることができるようになってきている。</p> <p>本書を活用することで、意欲を高めながら10までの数字について読み方や数え方を学び、数の表し方の理解を深められるようになることが期待される。</p>				
	指 導 の 概 略	<p>(1) 教師の読み聞かせや操作を聞いたり見たりする。</p> <p>(2) 教師と一緒に操作をしたり、丸印の数を数えたりしながら本書を読む。</p> <p>(3) 1から3の数について、数字の読み方や丸印を数える。</p> <p>(4) 4と5の数について、数字の読み方や丸印を数える。</p> <p>(5) 1から5の数について数えたり、決められた個数の(半)具体物を集めたりする。</p> <p>(6) 6、7の数について、数字の読み方や丸印を数える。</p> <p>(7) 8、9の数について、数字の読み方や丸印を数える。</p> <p>(8) 10までの数について、数字の読み方や丸印を数える。</p> <p>(9) 6から10の数について数えたり、決められた個数の(半)具体物を集めたりする。</p> <p>(10) 10までの数について、身の回りにあるものの数を数えたり、集めたりし、学習を振り返る。</p>				

(記入上の注意)

- 1 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番 号	7
--------	---

学校名 _____

担当者名 _____

図 書 名		数え方のえほん		発 行 者 名		あすなる書房	
図 書 の 内 容		<p>本書は、食べ物や道具、衣服や動物などの数え方について広く紹介している図書である。同じ食べ物でも容器によって、また、同じ動物でも大きさで数え方が変わることなど、使用する単位についてのきまりが詳しく説明されている。</p> <p>食べ物、動物、道具など身近なものを中心に説明されていることから、意欲を高めながら読むことができる図書である。</p>					
対 象 学 年		中学部1年(重複学級)	障がい種別	聴覚障がい	該当教科	数学	
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>本児童は、聴覚障がいがあり、聴力は左右とも 80 dBで補聴器をつけている。また、知的発達が8歳程度である。算数については、100円玉と10円玉を使って構成される2つの金額の大小を比べることができる。今後、長さについて測定したり、比較したりする学習を進めていく段階である。</p> <p>本書を活用することで、いろいろな単位があることを知り、数を数えたり比べたりすることへの意欲を高め、さらに、小学部での算数の学習を生かし、身の回りにあるものを数えたり比べたりする学習活動に発展させることが期待できる。</p>					
	指 導 の 概 略	<p>(1) 「いろいろなものを数えてみようゲーム」に取組み、「お金」「バナナ」「カニ」を数える。</p> <p>(2) 「バナナ」や「カニ」の単位は、既習の「円」では適当でないことに気づき、どんな単位が適切か調べることへの課題意識をもつ。</p> <p>(3) 教師と一緒に本書を読み、バナナは〇本、カニは〇杯という単位を使って数えることや、ほかにも様々な単位があることを知る。</p> <p>(4) 「長さを比べてみようゲーム」に取組み、ひもやモールの長さを直接比べる。</p> <p>(5) (4)のひもやモールを基準となる棒の長さがいくつ分あるかで比べる。</p> <p>(6) 本書の「長さ・面積・体積・重さ」のページを読み、cmという長さの単位があることを知る。</p> <p>(7) 定規を使って、いろいろなものの長さを測る。</p> <p>(8) 紙テープを1cm、10cm、30cm、100cmの長さに測り取る。</p> <p>(9) 長さの学習を振り返る。</p>					

(記入上の注意)

- 1 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番 号	8
--------	---

学校名 _____

担当者名 _____

図 書 名	はじめてであう すうがくの絵本1	発 行 者 名	福音館書店		
図 書 の 内 容	<p>本書は、「なかまはずれ」、二つ以上のものがくっついたものを考える「ふじぎなのり」(図形の組み合わせ)、「じゅんばん」、「せいくらべ」(長さ、重さ、水の量などの比較)の4つの数学の知識を学ぶことができる図書である。本書は、平仮名と片仮名で書かれており、見開きごとに説明や問題が焦点化され、見やすい図書となっている。</p> <p>初めに「なかまはずれ」などの概念の説明あり、その後、本文の問題について自分で考えたり、友達と話し合ったりする展開になっており、答えを発見していくワクワク感が詰まった図書である。</p>				
対 象 学 年	中学部1年	障がい種別	知的障がい	該当教科	数学
選 定 の 理 由	児童生徒の実態	<p>本児童は、知的発達が7歳程度である。数字に興味もち、数字を読み書きしたり、1～100までの数を唱えたりすることができる。また、パズルが好きで、自分で考えながら一人で組み立てることができる。</p> <p>本書を活用することで、図形や身の回りの量について興味をもち、数学的な見方・考え方を働かせて、考える力や表現する力が付くと期待している。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 本書を教師と一緒に読み、「なかまはずれ」の意味を知り、問題の「なかまはずれ」を考える。</p> <p>(2) ブロックなどで、仲間を集めたり、「なかまはずれ」を作ったりする。</p> <p>(3) 本書を教師と一緒に読み、「ふじぎなのり」(図形の組み合わせ)の意味を知り、何がくっついたか、何と何を組み合わせたらどうなるのか、何は何と何を組み合わせたのかを考える。</p> <p>(4) いくつかのパーツでできた図形の見本と同じ形の図形を作る。</p> <p>(5) 本書を教師と一緒に読み、数字と数のマッチングをする。</p> <p>(6) 本書を教師と一緒に読み、「じゅんばん」の意味を知り、「右から(左から、上から、下から)○番目」の問題に答える。</p> <p>(7) 教師の「右から○番目のお宝を見つけましょう」などの問題に答え、棚に隠れているお宝を探す。</p> <p>(8) 本書を教師と一緒に読み、「せいくらべ」(長さ、重さ、水の量などの比較)の問題に答える。</p> <p>(9) 実際に長さ、水の量を比較し、結果を発表する。</p> <p>(10) 学習を振り返り、分かったことを発表する。</p>			

(記入上の注意)

- 1 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番号	9
----	---

学校名 _____

担当者名 _____

図書名	クイズでたのしむ あんぜんえほん	発行者名	幻冬舎		
図書の内容	<p>本書は、「道路を歩くときは、右側と左側のどっちを歩くの?」といった安全に関する基礎的な内容をクイズ形式で問い、その答えがイラストともに解説されている。「交通安全」「保健」「事故防止」「防犯」「防災」の5つのジャンルで構成されており、「何が危ないのか」「どう行動したら安全なのか」が分かりやすく解説されている。</p> <p>また、クイズ形式であることで、児童が自分の生活に関係することとして考えやすく、安全に対する意識をもつことにつなげやすい図書である。</p>				
対象学年	小学部6年(重複学級)	障がい種別	聴覚障がい	該当教科	生活
選定の理由	児童生徒の実態	<p>本児童は、聴覚障がいがあり、聴力は左右とも 95dB である。軽度の知的障がいを併せ有している。交通安全教室や避難訓練等を繰り返し行うことで、基本的な交通ルールや防災に関するルールはおおよそ理解している。その一方で、日常生活のルールを意識することが難しい様子も見られる。</p> <p>本書を活用することで、生活の中で生じるけがや事故に遭わないために気を付けることや、自分の健康を守るために気を付けることなどについて知り、安心・安全を意識して生活しようとするのが期待できる。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 交通安全教室や避難訓練などの話題から、それぞれのルールを確認する。</p> <p>(2) 本書の交通安全や防災のジャンルを教師と一緒に見たり読んだりする。</p> <p>(3) 交通安全、防災に関わる内容をクイズ形式で質問し、自分なりの考えを発表する。</p> <p>(4) 本書でクイズの答えを教師と一緒に確認する。</p> <p>(5) 保健、事故防止、防犯の内容もクイズ形式で質問し、自分なりの考えを発表する。</p> <p>(6) 本書でクイズの答えを教師と一緒に確認する。</p>			

(記入上の注意)

- 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番号	10
----	----

学校名 _____

担当者名 _____

図書名	なぞなぞのみせ	発行者名	借成社		
図書の内容	<p>本書は、商店街にある文房具店、書店、ケーキ店など、女の子とおばあちゃんが次々と立ち寄る様子が優しいタッチで描かれ、その店舗に関係するなぞなぞが5問ずつ記されている。</p> <p>なぞなぞを読みながら答えを考える活動の中で、様々な種類の商店やそこで販売している商品に関心を持ち、社会の仕組みについて知ることができる図書である。</p>				
対象学年	小学部5年(重複学級)	障がい種別	病弱	該当教科	生活
選定の理由	<p>病弱の児童で、知的障がいを併せ有している。本児は、これまで入院や治療、体調不良のため、学習時間の制約や学習ができない期間が度々あり、現在も身体活動が制限されている。さらに体調によって体験的な活動の実施が困難なこともあり、買い物に行くなどの経験が不足している。その一方で、いろんな店に興味があり、自分の興味がある店で買い物をしてみたいという気持ちをもっている。</p> <p>本書を活用し、なぞなぞの答えを友達や教師と一緒に考えながら、店の種類を知ること、それぞれの店で売っている品物が分かるようになること、そして本書の内容から発展的な学習を展開し、実際に地域の商店とのテレビ会議システムを利用した交流を通して、地域の商店に関心をもてるようになることが期待できる。</p> <p>指導の概略</p> <p>(1) 本書の各ページの絵を見て、どんな物が売っているかを探して発表する。 (2) 教師と一緒になぞなぞを読み、答えを考える。 (3) (1)、(2)のまとめとして、どんなものを売っている店なのか、そしてその店の名称について知る。 (4) 本書に出てくる商店街の店をまとめ、「なぞなぞのみせ 商店街マップ」を作成する。 (5) 地域の商店の人に聞きたいことを考える。 (6) テレビ会議システムを活用して、地域の商店の人に質問をする。(地域探検としての活動) (7) 地域の商店の人に質問したことを模造紙にまとめる。 (8) みんなの前で発表する。</p>				

(記入上の注意)

- 1 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番 号	11
--------	----

学校名 _____

担当者名 _____

図 書 名	いちばんはじめのマナーえほん		発 行 者 名	偕成社	
図 書 の 内 容	<p>本書は、あいさつ、かたづけ、はみがき、トイレ、しょくじ、おふろ、のり物に乗るときや買い物に行くときなど、子どもの1日の生活と覚えておきたいマナーをわかりやすいイラストで紹介している図書である。</p> <p>子どもたちの1日を一緒に振り返りながらマナーを確認したり、次のステップを確認したりしながら生活経験を広げることができる図書である。</p>				
対 象 学 年	小学部3年	障がい種別	知的障がい	該当教科	生活
選 定 の 理 由	児童生徒の実態	<p>本児童は、知的発達が3歳程度である。身のまわりの生活のことが理解できるようになってきており、自分のことは自分で行おうとする場面が増えてきている。また、買い物学習や校外学習などの外での活動を楽しみにしており、お店での約束や交通ルールについても実際の活動の中で意欲的に学習している。</p> <p>本書を活用することで、さらに自分のことを自分でできるようになることが「できた!」という自信となり、さらに次のことに取り組もうという意欲につながり、マナーを守ることでいろいろな人との関わりが広がると思われる。また、自分への自信がつくことで、今度は友達との関わりや校外でのルールを考えて行動できるようになると期待できる。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 本書を見ながら家庭や学校での1日を教師と一緒に確認する。</p> <p>(2) トイレや食事など身近自立面でのマナーを教師と一緒に確認し、絵を見ながら実践してみる。</p> <p>(3) 今できていることや頑張っていることを発表する。</p> <p>(4) 本書を見ながら友達との遊びのルールを確認する。</p> <p>(5) 本書を見ながら交通ルールや校外での活動場面のルールを確認する。</p> <p>(6) 生活場面、学習場面でその都度本書を活用しルールを確認する。</p>			

(記入上の注意)

- 1 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番 号	12
--------	----

学校名 _____

担当者名 _____

図 書 名	新版 親子で旅する日本地図のほん	発 行 者 名	ひかりのくに		
図 書 の 内 容	<p>本書は、日本の都道府県の位置や名前、名産品などが47都道府県ごとに分かりやすいイラストと写真で紹介している図書である。また、北の北海道から南の沖縄県まで家族で旅行するストーリーで構成されており、どんな乗り物で行くことができるか、お土産は何にしようかなどと考えながら、実際に訪れたくなるようなワクワク感をもって学習できる図書である。</p>				
対 象 学 年	中学部3年	障がい種別	知的障がい	該当教科	社会
選 定 の 理 由	児童生徒の実態	<p>本生徒は、知的発達が8歳程度である。乗り物が好きで、バスでの校外学習を楽しみにしている。また、小学部での修学旅行や中学部での宿泊学習で、新幹線乗車の体験や、隣県へ出かける活動を通し、駅名や地名に関心をもつようになった。そして、身近な地域以外の地名を積極的に覚えたり、テレビなどで見聞きした地名を翌日教師に伝えたりする様子が見られる。</p> <p>また、来年度に修学旅行で東京へ出かけることをとても楽しみにしており、3年生の先輩たちが作成した事前学習の「修学旅行マップ」の掲示物に興味をもって眺めている。</p> <p>そこで、本書を活用することにより、自分が住んでいる県について学習を深めること、日本の都道府県の位置や名前や形、名産品などに興味・関心をもって学習することが期待できる。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 自分が住んでいる県を発表する。</p> <p>(2) 見開きの日本地図で、自分が住んでいる県を探す。</p> <p>(3) 自分が住んでいる県のページを探し、イラストや写真を見ながら気付いたことを発表する。</p> <p>(4) 自分の県についてさらに調べ学習を行い、発表しあう。</p> <p>(5) 今までに行ったことのある都道府県や、見聞きしたことのある地名を発表し、日本地図で探す。</p> <p>(6) (4) で探した都道府県のページを見て気付いたことを発表する。</p> <p>(7) (4) と (5) を繰り返す。</p> <p>(8) 巻末の新幹線地図や高速道路の地図などを見て、いろいろな交通手段で全国に行き来できることを知る。</p> <p>(9) 行ってみたい場所を発表しあう。</p>			

(記入上の注意)

- 1 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番 号	13
--------	----

学校名 _____

担当者名 _____

図 書 名	いろいろなおやさいどこになる？		発 行 者 名	コクヨ株式会社	
図 書 の 内 容	<p>本書は、身近な野菜の実り方についてイラストで示されており、地上に実る野菜は上方向に仕掛けが開き、地下に実る野菜は下方向に仕掛けが開く、見開き13ページの仕掛け絵本である。トマト、じゃがいも、人参、キャベツ、ほうれん草、玉ねぎ、ブロッコリー、かぼちゃ、大根の野菜がみずみずしく美しい挿絵で描かれ、取り扱いしやすい厚紙で製本されている。</p> <p>本文は「どんなおやさいできるかな」「じゃあこれは」のリズミカルな1～3語文が繰り返され、開く楽しみと身近な野菜の実り方が学べる。実際の野菜の育成の観察と照らし合わせたときにも再発見ができ、植物の成長の様子に気付き、興味関心を育むことができる図書である。</p>				
対 象 学 年	中学部1年(重複学級)	障がい種別	肢体不自由	該当教科	理科
選 定 の 理 由	児童生徒の実態	<p>本児童は、脳質周囲白質軟化症による移動機能障害があり、車いすを自走して移動ができる。顔や両上肢に震えがある。発語はないが、一日の流れを理解しており、学級での自分の役割や係活動、学習の提示の模倣や選択、トイレの意思表示ができる。知的発達3歳程度である。</p> <p>分かりやすい本書を、繰り返し自分で操作して本を見ることによって「野菜」の成長について興味をもてるようにし、実際の野菜を育てる活動と関連させて活用したい。好きな野菜を選んだり、本当にこのように育っていくのか予想してみたり、実るまでの成長の様子を観察したりして、野菜の成長に関する理解が深まることを期待できる。また、別な野菜で取り組むことにより、観察や予想を立てる見方・考え方の経験となることが期待できる。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 本書の読み聞かせを見たり聞いたりし、何の野菜か表紙の野菜の中から予想する。自分で上、横、下に開いたりして自由に見る。</p> <p>(2) 野菜は、実が地上になるものと、地下になるものがあることを知る。</p> <p>(3) 数種の野菜の種を見せ、何の野菜になるか予想する。</p> <p>(4) 野菜の種をまき、定期的に観察しながら苗まで育てる。</p> <p>(5) 苗からプランターに移植し、水やりをしながら観察し(タブレット端末で撮影)、葉の形と本書の絵を見比べ、どの野菜になるか予想を立てる。</p> <p>(6) 「芽が出たじゃがいもを植えるとどうなるか」予想し、植える。</p> <p>(7) 水やりをしながら葉の数や花、実を観察していき、本書を開いた状態と同じになったことに気付き、発表する。</p> <p>(8) 成長の様子をまとめ、発表する。</p>			

(記入上の注意)

- 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番 号	14
--------	----

学校名 _____

担当者名 _____

図 書 名	天気の不しぎえほん		発 行 者 名	PHP 研究所	
図 書 の 内 容	<p>本書は、天気に関する内容について豊富なイラストと分かりやすい説明で記されている。</p> <p>「なぜ雨が降るのか」、「どんな雲の種類があるのか」、「天気図はどうやって読むのか」などの内容について、それぞれ見開き1ページで説明されており、イメージしやすいイラストが用いられていることから、学習への興味関心を引き出しやすい図書である。</p>				
対 象 学 年	中学部3年(重複学級)	障がい種別	病弱	該当教科	理科
選 定	児 童 生 徒 の 実 態	<p>本生徒は心疾患の手術を乳幼児期に受け、その後も継続して医療を必要としている生徒である。また、知的障がいを併せ有している。病状から、運動や日常生活で様々な制限があり、生活経験が少ない。室内で活動することが多い本生徒は、豊かな自然に憧れを抱き、空や雲の様子を眺めて楽しんでいる様子も見られる。</p> <p>本書を活用し、日々変わる天気について、なぜ変わるのかなどの天気の基本について取り上げることで、積極的に観察や実験に取り組む姿や、自分の日頃感じている天気に関する疑問について進んで調べようとする姿を期待できる。</p>			
の 理 由	指 導 の 概 略	<p>(1) 晴れの日と雨の日で、1日の気温の変化の仕方がどのように違うのか予想を立てる。</p> <p>(2) 晴れの日や雨の日など天気の異なる日の気温を1時間ごとに測定する。</p> <p>(3) (1)の結果をグラフに表し、天気によって1日の気温の変化の仕方に違いがあることを知る。</p> <p>(4) 本書の「雲を見れば、天気がわかる」のページを読み、実際の空を観測して、今は何という種類の雲なのかを知る。</p> <p>(5) 二つの容器に同じ量の水を入れ、一つには蓋をして、もう一方には蓋をしないで日光の当たる場所に置いて、数日間観察する。</p> <p>(6) (5)の結果から、雨が降った後、雨はどこに行くのか予想を立てる。</p> <p>(7) 本書の「空気はしめっている」、「どうして雨がふるの？」のページを読み、自然界では水面や地面などから水が蒸発していることを知る。</p>			

(記入上の注意)

- 1 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番号	15
----	----

学校名 _____

担当者名 _____

図書名	おとがながれる てあそびうたえほん		発行者名	ブティック社	
図書の内容	<p>本書はボタンを押すと曲が流れる厚紙の歌本。9曲の手遊びをしながら歌える曲と、「さんぼ（となりのトトロより）」が収録されている。手遊びの仕方も丁寧に絵で解説され、児童と一緒に本書を見ながら手遊びを楽しむことができる。ボタンは、ソフトなタッチのもので曲、音量、うた、カラオケ、ないしょの5種類の形が異なり、繰り返していくことで操作する楽しみも期待できる。縦横18センチ程度の大きさは自分で取り扱いやすい大きさであり、視覚・聴覚・触覚に働きかける図書である。</p>				
対象学年	小学部3年（重複学級）	障がい種別	肢体不自由	該当教科	音楽
選定の理由	児童生徒の実態	<p>本児童は、脳性まひによる上肢機能障がい、両下肢移動機能障がいがあり、自力で移動することはできない。知的発達は1歳から2歳程度である。歌や音楽を好み、お気に入りの歌を聴いて笑顔になったり、その歌が聴こえないと不機嫌になったりする。</p> <p>本書を活用し、ボタンを押して曲を聴き、音や音楽に気付き、お気に入りの曲を見つきたい。お気に入りの曲のボタンを見て押す学習をすることで、音や音楽への気付きとともにボタンと好きな歌の関係に気付き、自分でできる好きなものを増やし、生活を楽しいものにしようとする態度の育成が期待できる。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 本書を見やすい位置におき、読み聞かせを見たり聞いたりしてから、そのページのボタンを押し、手遊びうたを聴く。(1曲ずつ)</p> <p>(2) 気に入った曲に手を伸ばしたり、注視、笑顔、発声で表現し伝える。</p> <p>(3) お気に入りのボタンを教師と一緒に押し、歌を聴いたり、手遊びをしたりして、楽しむ。</p> <p>(4) (1)～(3)を繰り返す。</p> <p>(5) ボタンを見て押し、歌を聴いたり、手遊びをしたりして楽しむ。</p> <p>(6) 聴きたい曲ではないときは、表情や発声で伝える。</p> <p>(7) 聴きたい曲のページを見ながら、その曲に相違ないかを確認する。</p> <p>(8) 確かめたボタンを押して、歌を聴いたり、手遊びをしたりして楽しむ。</p> <p>(9) ないしょのボタンの音に気付き、楽しむ。</p>			

(記入上の注意)

- 1 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番号	16
----	----

学校名 _____

担当者名 _____

図書名	あかあかくろくろ		発行者名	学研プラス	
図書の内容	<p>本書は、コントラストの強い配色、黒、白、赤の線や形と背景、目や口があるシンプルな「顔」の絵が見開き1ページにあり、見えにくさのある児童が注目しやすい内容であり、取り扱いしやすい厚紙で製本されている。本文の色の単語は長音にしたり繰り返したりして、絵に合った色の名前への親しみやすさ、面白さが表現され、楽しみながら視覚、聴覚に届き、色の区別や「顔」への興味を育むことができる図書である。</p>				
対象学年	小学部2年(重複学級)	障がい種別	肢体不自由	該当教科	図画工作
選定の理由	<p>児童生徒の実態</p> <p>本児童は、重度の肢体不自由の障がい、細菌性髄膜炎による移動機能障害があり、自力で移動することはできない。知的発達6か月程度である。全面的に支援を受けて、生活や学習をしているが、家族や教師など特定の人物がわかり、好きな音楽を聴いて笑顔になったり、好きものに触れて落ち着いて遊んだりすることができる。不快・不安になると頭を殴る自傷行為がある。</p> <p>分かりやすい本書を活用し、繰り返し注目することによって、「色」や「顔」に気付くことが期待できる。また、背景色や点と線の色を選び、多様な用具を用いて選んだ色で「顔」を楽しく表現する活動により、つくる楽しさ・感性を育むことが期待できる。</p> <p>の指導の概略</p> <p>(1) 本書を見やすい位置に置き、読み聞かせを見たり聞いたりする。 (2) 注目したページに手を伸ばさず、注視、笑顔等で表現し伝える。 (3) ページだけを見たり、動いているページを追視したりして、好きなページや色や形を楽しむ。 (4) 好きなページと同じラフスケッチに、点と線で教師と一緒に「顔」を描き、絵本と並べて鑑賞する。 (5) (1)～(4)を繰り返す。 (6) 黒、白、赤色の画用紙から一つ選び背景色を決める。 (7) 点と線の色を選び、教師と一緒に「顔」を描く。 (8) (6)(7)を繰り返す。 (9) 背景色選びに慣れてきたら、本書の好きなページと同じ「顔」描きに挑戦し、見比べる。</p>				

(記入上の注意)

- 1 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番 号	17
--------	----

学校名 _____

担当者名 _____

図 書 名	いろがみびりびりびったんこ	発 行 者 名	アリス館		
図 書 の 内 容	<p>本書は、色紙をちぎって作る、色とりどりのちぎり絵工作のアイデアが詰まった図書である。りんご、お花畑、電車など、アイデアは生徒の身近なものとなっている。巻末には、「じゅんびするもの」「あそびかた（制作の仕方）」「こんなこともできるよ（制作の応用）」が書かれており、学習の準備や手順、工夫が分かりやすく書かれている図書である。</p>				
対 象 学 年	中学部1年（重複学級）	障がい種別	視覚障がい	該当教科	美術
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>本児童は、両眼視力が0.04で、知的障がいを併せ有している。本に顔を近づけると、形や色を捉えることができる。また、色の名前が分かり、絵を描くことやちぎる活動が好きである。</p> <p>本書を活用することで、色や身近なものへの関心を広げ、材料を選んだり、用具の扱いに慣れて使ったりすることができるようになると期待できる。</p>			
	指 導 の 概 略	<p>(1) 教師の読み聞かせを聞く。 (2) 本書に出てきたお気に入りの色や絵を発表する。 (3) 作りたい作品を考え、描く用具を選んで絵を描く。 (4) 表したいことに合う色紙を選ぶ。 (5) 色紙をちぎる。 (6) 色紙を糊で貼る。 (7) 作品を発表し、友達作品を鑑賞する。 (8) 学習を振り返り、本書巻末の「ちぎりえであそぼう」を参考にしながら、次につってみたい作品や使ってみたい材料・用具を考える。 (9) (3)～(8)を繰り返す。</p>			

(記入上の注意)

- 1 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番 号	18
--------	----

学校名 _____

担当者名 _____

図 書 名	みんなのいちねん		発 行 者 名	アリス館	
図 書 の 内 容	<p>本書には、町に行き交う人々や新しい家に引っ越してきた家族の様子が月ごとに描かれている。各月のページからは、それぞれの季節の街並みや行事、そして家庭の様子を読み取ることができ、読みながら各時期の自分の生活を想起することができる図書である。</p>				
対 象 学 年	中学部1年(重複学級)	障がい種別	病弱	該当教科	職業・家庭
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>本児童は、慢性疾患により入退院を繰り返している。また、知的障がいを併せ有している。家庭では、節分や七夕、クリスマスなど季節の行事を経験しており、家族と行うこれらの行事が本生徒の大きな楽しみの一つとなっている。これまで長期休業中に家庭との協力のもと取り組んだ日記の課題では、家族との季節の行事の思い出をテーマにすることが多くあった。その日記からは、少しずつ家庭の中で役割をもち、取組んでいることがうかがえる。</p> <p>本書を活用することにより、本生徒が各月の行事の行事や生活の様子を具体的に想起することができ、そこから、家庭生活の中での役割について考えを深めることが期待できる。</p>			
	指 導 の 概 略	<p>(1) 教師の読み聞かせを聞く。 (2) 教師と一緒に本書を読み、各ページの問題に答えながら、各月の人々の様子を確認する。 (3) 各月の内容に関連して、これまでに経験したことのあることや自分の好きな行事を発表する。 (4) 本書の1月の街並みの様子から、郵便配達、獅子舞など地域のために活動している人があることを確認する。 (5) 本書の1月の家族の様子から、楽しい食事のためには準備が必要であることを確認する。 (6) 2月から12月について、(4)(5)のように地域や家庭での役割を果たしているという視点で読み取る。 (7) これまで日常的に家庭で自分が果たしてきた役割を振り返り、発表する。 (8) 家庭の中でどんな役割をしてみたいかを考える。 (9) やってみたいことを家族に伝え、実践する。 (10) 家族からのコメントをいただき、家族の思いや気持ちを知る。</p>			

(記入上の注意)

- 1 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番号	19
----	----

学校名 _____

担当者名 _____

図書名	きみのところをつよくするえほん		発行者名	主婦の友社	
図書の内容	<p>本書は、日常生活におきる失敗やけんか等により、怒りや嘆き等の感情の起伏の繰り返しが心を強くすること、心を静める方法を文章と挿絵で分かりやすく全28ページで構成されている。ネガティブな気持ちを「もやもやくん」と擬人化し、感情のコントロールを「もやもやくんを助ける」と設定することで、親しみをもって、落ち着く方法を主体的に学んでいける。逆境や困難に遭ったとき、ネガティブな感情を認め、自分自身で鎮める方法を身に付けることで、そこから立ち直る力、やりぬく力である「レジリエンス」を育てる内容となっている。</p>				
対象学年	小学部5年(重複学級)	障がい種別	病弱	該当教科	特別の教科 道徳
選定の理由	児童生徒の実態	<p>本児童は、慢性疾患により入院と退院を繰り返している。また、知的発達が9歳程度である。学習室で友達や先生に会えるのをとても楽しみにしている。一方、入院生活では治療を頑張りたいという思いがありながらも、前向きに取り組むことができない様子も見られる。</p> <p>本書を活用し、「もやもやくん」との関わり方を考える学習をすることで、嫌な事や苦手な事に出会ったときには、誰もがもやもやした気持ちになることやその気持ちになったときに適切な方法で乗り越えていくことへの理解を深めることが期待できる。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 本書の読み聞かせを見たり聞いたりした後、自分で自由に読む。</p> <p>(2) 事前アンケート「先生や友達を感じる『もやもやくん』」の結果から、誰もが「もやもやくん」を感じ、苦手なことを続けられないことがあることを知る。</p> <p>(3) 自分に中にある「もやもやくん」を想起し、時々「もやもやくん」が大きくなることを振り返る。</p> <p>(4) 本書を読み、「もやもやくん」を助けるためにできることを確かめる。</p> <p>(5) 本書「ところをもっとつよくする 4つのしつもん」を読み、(4)の他に、別の方法はないかを考える。</p> <p>(6) (4)と(5)の方法から自分に取り入れてみたい方法を考える。</p>			

(記入上の注意)

- 1 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番号	20
----	----

学校名 _____

担当者名 _____

図書名	みんなのきもちがわかるかな おもいやりの絵本		発行者名	金の星社	
図書の内容	本書は、子どもの身近な生活場面でのおもいやりの気持ちや行動について紹介している図書である。「かぞく」「ともだち」「みんな」の3つの章に分けて構成されており、生活の中の様々な場面での身近な人とのかかわりにおける心の動きが分かりやすい内容となっている。また、思いやりのある「ハートちゃん」といじわるな「ギザギザくん」のキャラクターの言葉を読むことで、目指す道徳的価値に迫る心情だけではなく、人間の弱さや心の葛藤も描かれている図書である。				
対象学年	中学部3年	障がい種別	知的障がい	該当教科	特別の教科 道徳
選定の理由	児童生徒の実態	<p>本生徒は、知的発達が8歳程度の生徒である。タブレット端末を使っての学習や音楽が得意で、これらの学習に積極的に取り組むことができる。また、上級生として、下級生の生徒に手本を示したり、アドバイスをしたりしたいという前向きな気持ちをもっている。一方で、国語や数学の時間に根気強く問題に取り組むことや全校での集会活動に参加することが不得手であり、教室や体育館の隅で過ごすことが多い。また、自分のやりたいことを優先してしまい、順番を守れなかったり、乱暴な言葉を使ったりするなど周りの友達に対して思いやりに欠ける言動が見られることがある。</p> <p>本書を活用することにより、具体的な思いやりのある行動について知り、周りの人に思いやりの気持ちをもって接することのよさを理解できるようになることが期待できる。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 教師と一緒に本書の「かぞく」の章を読み、家族がいてよかったと思ったときのことを発表する。</p> <p>(2) 家族に思いやりをもって接してもらおうと嬉しくなることを振り返り、思いやりの気持ちをもって行動することのよさを確かめる。</p> <p>(3) 「かぞく」の章の「あいさつ」について、役割演技やこれまでの経験の発表を通して笑顔で元気に挨拶することのよさを確かめる。</p> <p>(4) 「かぞく」の他の項目について(3)のように役割演技やこれまでの経験の発表を通して思いやりの気持ちをもって行動することのよさを確かめる。</p> <p>(5) 家族に対して、どのように思いやりの気持ちを行動に表したいか考え、発表する。</p> <p>(6) 年間を通して、「ともだち」「みんな」の章について(1)から(5)のように学習し、生活の様々な場面で思いやりの気持ちをもって行動することについて、そのよさを確かめ、これからできそうなことを考える。</p>			

(記入上の注意)

- 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。